

令和3年度 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

◆市町村名

下呂市

◆配属部署

市民活動推進課

◆家庭教育支援員の役割

ママたちが気軽に集える「赤ちゃんカフェ」「UPカフェ」を開催。「ママの元気は、こどもの元気」をモットーとし、ママたちのつながり作りと学びの場を提供する。手作りお菓子とお茶をいただきながら、リラックスした中でのおしゃべりや子育ての情報交流、バラエティーに富んだメニューのプチ講座を行うことで、ママたちの悩みの軽減につなげている。支援員は、子育て経験のある地域の先輩ママたち。「下呂で子育てできてよかった」と感じてもらえるよう、自らの経験を生かし、一人ひとりに寄り添った支援を行う。

◆主な活動

■活動体制

- ・年3回のスタッフ会議：事業計画、予算計画、振り返り等を行う。
- ・スタッフ：市内9人（子育て経験者&子育て中のママ）
1開催あたり6人程度。下呂市を南北2地区に分け分担。
お菓子スタッフが手作りお菓子を提供。
- ・開催場所：主に公民館や市民会館。
- ・広報活動：4月に1年分の開催予定チラシを配布。
（保健センター、こども園、児童館、子育て支援センター、病院、振興事務所等）
各回の開催チラシは随時配布。
- ・申し込み方法：メール、電話、申込書
- ・開催時間：10:00～11:30（平日）
- ・開催回数：赤ちゃんカフェ18回、UPカフェ7回
- ・対象者「赤ちゃんカフェ」：0歳児のこどもをもつ母親、妊婦さん。
「UPカフェ」：年齢に関係なく子育て中の母親、妊婦さん。

■活動内容

- ①自己紹介：一人ずつ自己紹介し、互いの情報を共有する。
- ②フリートーク：手作りお菓子とお茶をいただく。4～5人のグループを作り、毎回違ったテーマで座談会をしたり、子育てについての悩みを打ち明け、互いにアドバイスしたりする。
- ③プチ体験：ヨガや体操、ミニコンサート、工作等、母親が体験したり経験したりして、リフレッシュできるコーナーを実施する。
- ④子育て講話：保健師や栄養管理士などを講師に招き、子どもの心身の発達やコミュニケーションの取り方、食育などの講座を開催する。
- ⑤親子の触れ合い：ベビーマッサージや親子体操、手遊び、レクリエーションなど、親子のコミュニケーションを促す活動体験コーナーを実施する。

■コロナ禍におけるR3年度の活動

R2年度から行っているコロナ対策を継続し、少人数でのフリートークを中心に開催。

【内容】 ①自己紹介 ②レクリエーション ③グループトーク（2人～3人）

レクリエーション：手遊び、絵本の読み聞かせ、脳トレクイズ、体操 等

- ・感染症対策（検温・消毒・換気・距離の確保・マスク着用）
- ・飲食の提供は行わない。
- ・会場に応じて人数を制限。
- ・時間を1時間15分に短縮。

【アンケート調査実施】

働く母親の増加により参加者が減っている現状を受け、市内の母親にアンケート調査を実施し、土日開催の希望の有無を把握すると共に、来年度に生かす。

◆成果

- 感染状況によって中止せざるを得ない時もあったが、コロナ禍だからこそ、ママ達の居場所作りが必要だというスタッフの強い想いから、開催を続けることができた。
- 以前より深刻な話を相談される方が増えているが、参加後には「悩みを解決できて良かった」「気分転換になった」「他の方の子育ての話を聞いて良かった」等と、ママ達の笑顔があふれる時間となっている。
- スタッフが地域のことをよく知る地元の母親であることから、開催ができない時でも、日常生活の中で個別に声をかけ子育ての相談にのったり、心配な人に声をかけたたり、ママ達にとって頼りになる存在となっている。
- 他県から引っ越してきた方、一人目を出産し初めて参加する方などにとって、貴重なコミュニティの場となっている。

◆問い合わせ先

下呂市 市長公室 市民活動推進課

0576-24-2222